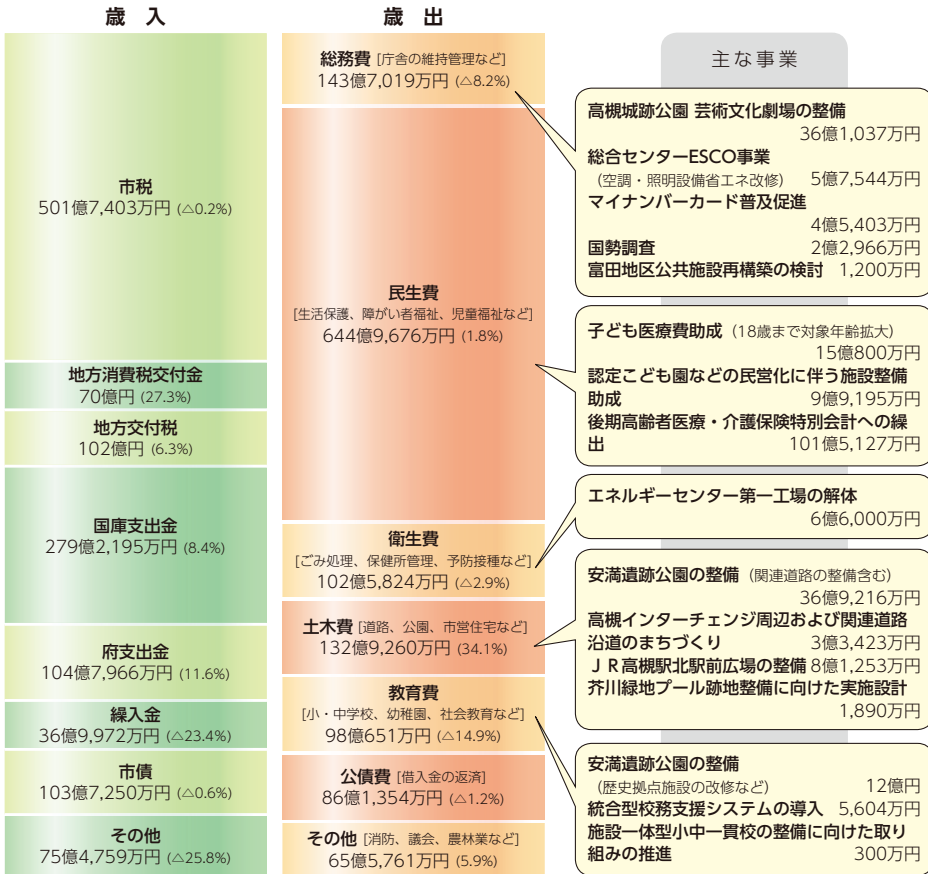


01 令和2年度 当初予算決まる

一般会計 1,273億9,545万円

関係先 財務管理室 ☎674・7352

一般会計（総額1,273億9,545万円）の内訳



※ () は令和元年度6月補正後予算と比較した増減率、△はマイナス



歳入
歳入では、市税は、個人市民税、固定資産税の微増が見込まれるものの、税制改正により法人税割の税率が引き下げられることから法人市民税が減少し、全体で8100万円の減額を見込んでいます。
また、地方消費税交付金は、消費税率の引き上げにより15億円の増額を見込んでいます。消費税引き上げ分は、社会保障関係施策に充てることとされています。

歳出
土木費・民生費で増
歳出では、来年3月全面開園に向けた安満遺跡公園や関連道路の整備など大規模事業の進捗により、土木費が33億8300万円の増額となつて

一般会計は1・1%増
令和2年第1回市議会定例会で、令和2年度当初予算が可決されました。一般会計は1,273億9,545万円で前年度6月補正後予算より1.1%増加。特別会計や企業会計を合わせた総額は、2,373億1,807万円で前年度6月補正後予算より1.5%の増加となっています。
※昨年は市長選挙の年で、前年度当初予算は骨格予算であったため、6月補正後予算と比較

法人市民税が減
地方消費税交付金が増

います。また、子ども医療費助成の対象年齢拡大(18歳まで)のほか、民営化された認定子ども園などの建て替えに関する整備費の助成、医療介護分野の給付増加などに伴い、民生費が11億2,000万円の増額を見込んでいます。
一方総務費は、高槻城跡公園芸術文化劇場の整備など継続している大規模事業があるものの、市役所の耐震化が完了したことにより12億9,100万円の減額となっています。

令和2年度当初予算

会計別	予算額	増減率 (%)
一般会計	1,273億9,545万円	1.1
特別会計	1,099億2,263万円	2.0
公園墓地特別会計	2億5,852万円	348.1
駐車場特別会計	10億3,367万円	12.7
国民健康保険特別会計	368億7,718万円	△0.1
介護保険特別会計	320億9,795万円	9.8
後期高齢者医療特別会計	64億8,130万円	5.3
母子父子寡婦福祉資金 貸付金特別会計	8,225万円	△7.0
財産区会計	49億2,821万円	△1.3
下水道等事業会計	149億2,335万円	△4.3
自動車運送事業会計	45億1,903万円	3.9
水道事業会計	87億2,116万円	△7.6
合計	2,373億1,807万円	1.5

※予算額は端数処理のため合計などと合致しない場合あり
※増減率は令和元年度6月補正後予算と比較、△はマイナス

「みらい創生」に向けた予算編成

市は今後、生産年齢人口の減少や高齢化の進展などにより、厳しい財政運営が想定されています。今年度の予算編成でも、限られた財源を効果的に活用するよう工夫を行い、子ども医療費助成拡充のほか、安満遺跡公園の整備など、将来の発展を見据えた事業に配分しました。
引き続き、「みらいのための経営革新」に向けた改革方針」に掲げた、歳入改革、歳出改革、公営企業・外郭団体改革とともに、未来志向の魅力あるまちづくりを推進します。

市民1人当たりに使われるお金は？

一般会計予算を市民1人当たりで計算すると、36万2,930円です。
※令和2年3月31日現在の人口35万1,019人で計算

福祉・医療の充実 12万2,068円	都市環境の整備など 5万6,652円	市債の返還 2万4,539円
子育て・教育の振興 10万5,240円	消防関係 1万113円	その他 4万4,318円